

令和3(2021)年度

増上寺所蔵 三大蔵電子化公開に 関するシンポジウム

オンライン開催



佛説無量壽經卷上
青龍天皇三蔵聖僧經緯
我聞如是。一時佛住王舍城耆闍崛
山中。與大比丘衆萬二千人俱。一切
大聖神通已達。其名曰尊者了本際
尊者正願尊者正語尊者大支尊者
仁賢尊者離垢尊者名聞尊者善實
尊者具足尊者牛王尊者有德須彌
迦葉尊者伽耶迦葉尊者都提迦葉
尊者摩訶迦葉尊者舍利弗尊者大
目犍連尊者却闍維尊者大住尊者

仏教文化史上に残る大事業、浄土宗開宗850年慶讃事業「大本山増上寺所蔵の高麗版大蔵經撮影ならびに三大蔵電子化公開」を知っていただくためのシンポジウムです。

法然上人が大蔵經を背景として善導大師の『観經疏』へと到達し
浄土宗を開いたこと、さらに徳川家康公から寄進された什物として
増上寺が所蔵してきた三大蔵の仏教のおよび文化的意義の
高さと、三大蔵の電子化という新時代への移行を通じた
人文学や仏教文化の新たな時代の幕開けを
感じていただきたいと存じます。

日時

令和3年
(2021)

11月29日 月 13:00～

聴講
無料

場所

オンライン (Zoomウェビナー)

定員 先着 200名

申込方法 QRコードを読み込み、フォームに沿ってお申し込み
ください。

または、浄土宗公式サイトからお申し込みください。
※定員になり次第、締め切ります。

浄土宗

検索



【注意事項】・ZOOMウェビナーを利用したオンラインシンポジウムです。
(カメラ・マイクはなくてもご参加いただけます。)

・申込受付後、自動返信メールにて視聴用URLをお送り
します。

お問合せ 浄土宗企画調整室

電話:075-525-0481 Eメール:kikaku@jodo.or.jp

主催:浄土宗 共催:浄土宗大本山増上寺
協力:公益財団法人全日本仏教会

講演①「増上寺所蔵三大蔵と電子化の意義」
袖山榮輝先生(浄土宗総合研究所主任研究員)

講演②「法然上人と一切經」
林田康順先生
(大正大学教授・浄土宗総合研究所研究員)

講演③「増上寺所蔵の三大蔵について」
下田桃子先生(成蹊高等学校教諭)

講演④「増上寺所蔵三大蔵電子化の実用化」
齊藤舜健先生(浄土宗総合研究所主任研究員)

コーディネーター

柴田泰山先生
(大正大学非常勤講師・浄土宗総合研究所研究員)

タイム
テーブル

12:30 受付開始
13:00 開会挨拶
13:10 第1部 講演①～④
14:50 休憩(20分)
15:10 第2部 パネルディスカッション
16:10 閉会



法然上人
浄土宗
開宗850年
お念仏からはじまる幸せ
令和6年